

# 生活

生活にナニカト役立つ連載コラム  
つぶやき「がんちゃん」の  
知恵袋 Vol-14



Vol-14



一生懸命  
つくづくます

■プロフィール  
さいとう ひろかつ  
**齋藤廣勝**  
株式会社  
トータルライフサポート代表取締役  
日本FP協会会員

■CFP・サーティファイドファイナンシャルプランナー  
■1級ファイナンシャルプランニング技術士  
■日本商工会議所 年金・退職金等認定講師  
■住宅ローンアドバイザー



## 今月のテーマ

**- 固定費をやっつける！ -**

## 今月のつぶやき(わがっしゃいるけど…)

これまで家計の仕分けについて話してきたが、言うと行うとでは話が違う。使ってはいけないお金があることや、仕分けることも、計画性を持てということも、言われなくたつて皆さんよく分かっているんですね。しかし、現実はそう簡単にはいかないんだ。「生意気なことを言うな!」と、お怒りの「逆つぶやき」も聞こえてくるような気がします。ごもっともですが、それでもやらなきゃならない。

「そんな金どこにある!」「出せるものなら出してみろ!」てな具合に反発を買いそうだが、ここで退いたら元のモクアミになってしまう。事業仕分けでも出ているが、埋蔵金なるものが国民を驚かせた。何も奥様のヘソクリをあぶり出してあばこうとしているのではないか、もしかしたら知らず知らずに負担している無駄な支出が無いものだろうか?これがもあるんだなあ。それも最も効果の大きい固定費といわれるところに…!一見、固定費とはどうにもこうにも変えられないと考えられているようだが、こここの部分をやっつてしまおうというのが今回の魂胆だ。固定費はその名の如く、チョットとした節約で減らしたりも出来るが、節約の対象にすらなっていないケースが多い。しかし、この“くせもの”とも言える固定費の中にこそ、大きな節約の効果が隠れている。

今月は、「固定費をやっつける！」を考えてみよう。



## 生活知恵袋

## 固定費

- ・家賃・住宅ローン・生命保険
- ・クレジット返済・新聞購読料
- ・子供の教育費・電話基本料金
- ・電気基本料金
- ・税金等(自動車・固定資産)

## 変動費

- ・食費・被服費・交際費
- ・医療・衛生費・日用品・雑貨
- ・水道・光熱費
- ・通信費(携帯・インターネット)
- ・教養・娯楽・電気料金

固定費・変動費という支出があるわけではなく、それぞれの支出がその性格から大別し、総支出を固定費と変動費とに分類して考えようというものである。ここでは会計上の原則や相かいことは書いておくことにしよう。目的は、固定費・変動費の分類の概念を理解することによって、家計の収支の仕分けをしやすくするんだ。

家計の支出を最も大きく分類すると、次のように分けられる。

総支出 = 固定費 + 変動費

代表的な具体的費目をあげてみると、左図のようなものがある。

## 固定費・変動費の考え方

## 保険と暮らしの相談センター

お気軽にご相談ください。

- 家計の管理
  - お金の運用
  - 保険やローンの選択・見直し
  - 年金
  - 教育
  - 住宅、相続etc…
- 皆様の生活設計をより良いものにするためのお手伝いをいたします。

株式会社  
トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市東北3丁目17-22

●営業時間：9:30～19:00 ●定休日：水曜日

018-827-7611

018-827-7610

無料相談会  
受付中!

保険と家計の  
まとめて診断致します。



TEL 018-821-0811

分類する際、電気料などのように分類しにくいものもある。毎月かかるものだから固定費とお思いだろうが、基本料金は固定費になると、従量料金(使用量に応じて変わら)は家族の行動に大きく左右されるものであるため、変動費となる。

「えつ、パパのお小遣いはどうちだつて?」  
あの、その……」れを走り付けてしまうと、夫婦円満に水を差す」となりそつなので、「忍法知らん振りの術」を使つちやえ……」

## 変動費ってなあに?

変動費という支出があるわけではなく、それぞれの支出をその性格から大別し、総支出を固定費と変動費とに分類して考えようといふものである。

変動費を一口に言つてしまえば、毎回の支出が一定ではないものと言える。家族それぞれの日々の行動に大きく左右されるし、季節の移り変わりと共に変動するものも多い。特売のチラシに興奮し、狂牛の「とくワゴン」に突進する奥様の行動は、まさに変動費の増大につながる。言い過ちました。反省……。

今年の野菜の高値は、食費の支出を大きく変動させたが、高いときは高い世えることなどによつて、コントロールしやすいものであることがお分かりいただけるだろう。ならば、節約しやすいと思えるかもしねないが、反面大きく膨らんでしまう可能性もはらんでいる。これが馬鹿馬の「」とく裏れだしたら、もう手に負えないところまでエスカレートしてしまった危険性もあるのである。

## 固定費をやつつけろー

では、何をどうやって削減すればいいのだろうか? 確かにまけるというわけにも行かないし、新田代の割引も聞いたところが無い。それぞれの家庭での固定費支出は当然に異なってくる。

まずは我が家の家計支出の中で固定費。「毎月(毎回)一定額が出て行く項目」には、どんなものがあるかを考えいただきたい。次には、リストアップされた固定費をさらに削除できるものが無いかを考えてみよう。先にも語りやさしいと言えるが、反面その支出はコントロールしにくい支出とも言える。

改めて、前ページの表中の費目を見ていたら、だきたい。それを見たつて、そのほとんどが毎月、口座から一定額が引き落としになつているのだ。いつだん決定すると、なかなかその見直しもされにくく、手付かずの状態で放置されているのが現状だ。削減しにくい固定費だからこそ、いったん変えてしまえば、その効果は将来にわたって続くことになる。

家計の見直しは、盲点とも言える固定費削減にこそ、最大の可能性が隠れている。

### 一大固定費

数ある固定費の中でも二大固定費とも言えるのが、住居費(住宅ローン)と生命保険だ。どちらの支払いも比較的高額であるし、総支出に占めるウエイトが高い。さらに、20~30年と長期間に及ぶだけに、その総額はとんでもない金額に及ぶ。おっこわり……。

次号からはこの二大固定費の削減を具体的に取り上げます。どうぞ期待……。

